**アンケートピックアップ**

**1月8日 TedTech(株)　代表取締役CEO 野村哲雄　氏**

**問１ 学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

今までに多くのベンチャーを創業しているということに驚きました。創業の内容が熱や電気についてのもので、理系の私にはとても興味深いものでした。今でも使用されている製品がいくつかあり、必要とされているものを生み出すことができるのはすごいと思いました。最初の方でおっしゃっていた「バイリンガルではなくバイカルチャー」という言葉が印象的でした。グローバル化が進み、英語や中国語を学べという人が多くいる中で、他の文化を学ぶということが世の中で必要とされるものづくりにつながっているのだと感じました。(理工学部 化学生命系学科 2年)

ベンチャー企業の失敗例を聞くことのできる貴重な時間でした。私自身最近のベンチャーで起業することの持ち上げられ方を疑問視しており、起業家・経営者の方々のメディア露出やSNSの発展から起きたムーブメントだとは思うのですが、そういったものは大概良い点にしかスポットを当てないもので、今回の講義の様々な0→1の部分をメインに、また、視点の少なさを問題視する意見を盛り込んだ意見が聞けたのは貴重な時間だったと思います。(経営学部　1年)

どのような企業が実際に成功し、その時にどのような状況にあったのかを、ある種ケーススタディーのように知ることができた。前回、投資する際に特に“人を見る”と経営者の裁量を重視して投資するという話があったが、今回はマーケットを最も重視すると述べられていた。これまでは需要があることが重要なファクターであったように感じるが、これから目に見える需要が減っていく中でどのような要素が重視されていくのかを考えていきたい。（教育人間学部　学校教育学科　３年）

理系だからといって経営を遠ざけるのではなく、むしろ自分の技術を守る、生かすために、必要不可欠だということが分かった。授業内でおっしゃっていた「たとえ失敗しても、やって後悔したほうが良い」という言葉が印象的だった、以前聞いた話では、Googleなどは、一つのプロジェクトが失敗したり、実現できないことが分かったりしたら、会社から報酬が与えられると聞いたことがある。ベンチャーへ関わる人々の間隔が「失敗してもいい」というものだと改めて感じた。一方で、日本全体としては、その風潮はなく、むしろ逆の風潮があると思う。(理工学部　機械材料海洋系学科　2年)

規格外の人が会社を大きく成長させるというお話が印象に残った。ゴルフバックやライターに時計をつけるなんて思いつきもしないことだけれど、当たり前に存在する性質の異なる二つを組み合わせるだけでも、規格外の発想を生み出すことができると思うと、自分でも変えられそうだと思ったし、これから何か考えるときのヒントにしようと思った。（経営学部　1年）

印象に残った言葉は、「自分の頭で、自分のフィルタを通して考えろ」です。私の周りでも一日中スマホを見ている人が多いです。社会の諸問題に対して自分自身の意見を持つことは大切だと感じました。そのために、本を読むことが重要なのだということも分かりました。また、異文化に対するアンテナの張り方の弱さも痛切に感じました。何のために外国語を勉強するのか、他国では物事をどのように考え、感じているのか、ということにフォーカスするべきだと思いました。（経済学部　1年）

情報・通信に関する技術面の話を詳しく説明していただけたのでとても興味深く、多くを学ぶことができました。どのような企業にもライフサイクルがあり、今、勢いのある会社もずっと安泰とは言えないという話が印象に残りました。ベンチャーの失敗のエピソードも詳しく知ることができ、成功のエピソードと合わせて、そこからベンチャーを起業、経営する上でどんなポイントに目を付けるべきかを学ぶことができました。市場のニーズを考えることが必要と学びました。(理工学部　化学・生命系学科　２年)

**問２ 今後のアクションにつなげていきたいこと**

普段はあまり失敗の話が聞けなくて、成功している人から「失敗を恐れるな」と言われても「え？」と感じていたが、実際にいろいろな失敗をしてる人からの話が聞けて、大学生のうちに色々なことに挑戦しようと思った。とりあえずM1に出る。(経営学部　1年)

グローバル化が進行し多様化・多文化が進んでいく中で、自分の固定観念や周りの一般論はあまり重要ではないことに気づきました。多文化理解や物事の多角的な理解に必要な学習方法を自分で見つけていくこと、また、自分の感性を大切にすることを始めようと思いました。（経済学部　1年）

バーベキューでスイカを焼くというインドの話など、海外文化について触れる。また、歴史など感性を磨くというのは大切だと思うし、共感できた。創業には問題意識が必要というのは他の方も言っていたので、意識していきたい。(経営学部　経営学科　1年)

**授業スタッフの感想**

今までの講義は数多くのベンチャーの成功談について聞いてきたが、今回の野村さんのお話は失敗談とその原因について詳しく聞くことができたので、大変貴重な機会だった。講義を聞く中で思ったのは、文系でも理系分野の人が携わるテック系の知識を養うことは重要だということだ。たしかにテック系の話は難しいが理解しようという姿勢でニュース記事等を読むように心がけたいと思う。そうすれば自分の視野が広がり、諸問題に関する意見も深まるはずだ。

企業には変革が必要であるということは以前から様々な講義で聞いていましたが、Amazonprimeの市場飽和など今まで聞いたことのない具体的な例を紹介して頂き、大変参考になりました。一度成功したからといって顧客は一生その企業についてきてくれる訳ではなく、時代の流れと共に変わる顧客のニーズによって、絶好調であった企業でも長く続けるには変革が必要であるのだと切に感じる事が出来ました。

技術・経営手腕など様々な要素が揃ってはじめて起業は成功すると感じた。技術者であっても、分業が進んでいないベンチャー企業では、経営面の知識も必要だ。が、知識が無い時は自ら経営を勉強するだけでなく、頼りになる経営者を持つことも重要だろう。複数の失敗事例が挙げられていて勉強になった。失敗原因の一つに人間関係があり、大人の世界でも人と人の関係性を良好に保つのは難しいと知り驚いた。